

東北大学の教育

理念と実施体制

副理事(教育企画担当)

高等大学院機構 大学院改革推進センター長

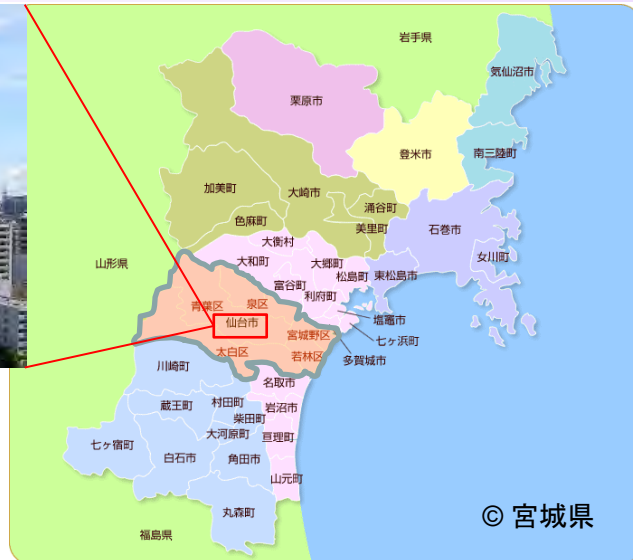
あんどう あきら

安藤 晃

2025年4月3日

新入生オリエンテーション

杜の都 仙台



せんだい
千代→仙臺→仙台

(戦国時代)

(1601年・伊達政宗)

(現代)

「仙臺」: 唐の詩人の七言律詩「同題仙遊観」の中の「仙臺初見五城楼」より
(と言われている)



仙台市の紋章

=



伊達家家紋「豎三引両」

(たてみつびきりょう)

×

仙



市の花: ハギ
Lespedeza sp.



市の木: ケヤキ
Zelkova serrata



市の鳥: カッコウ
Cuculus canorus



杜の都 仙台

川内キャンパス

地下鉄川内駅前



星陵キャンパス

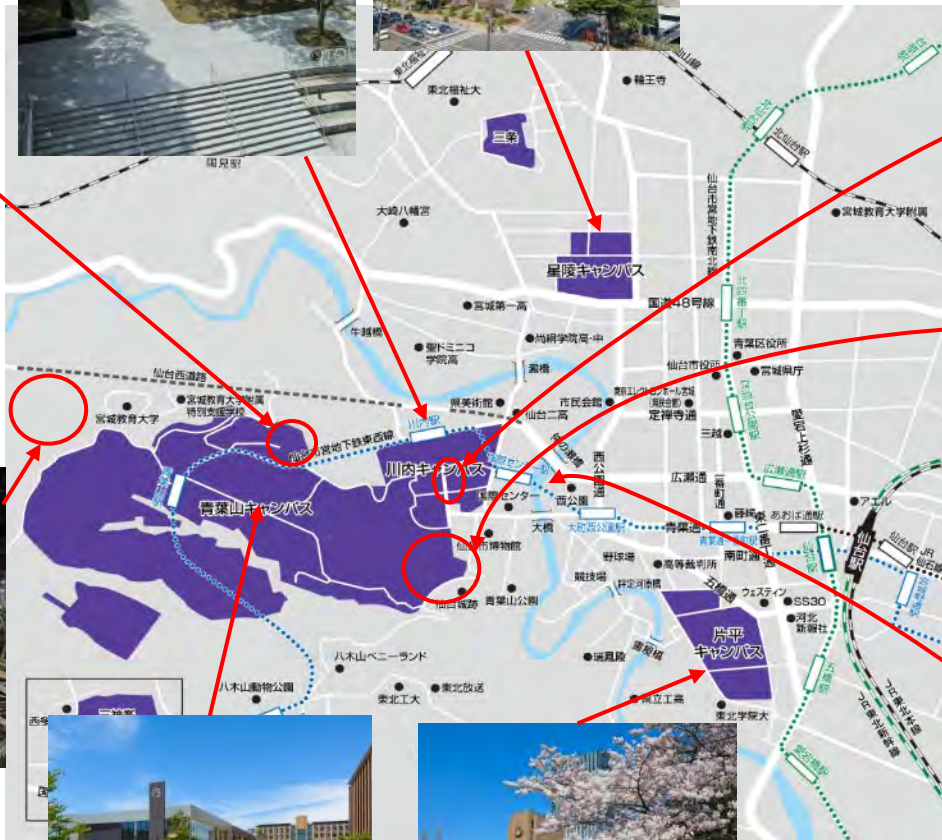


【川内】中善(なかぜん)並木
(中善<中川善之助 法学部教授)



【川内・青葉山】植物園
国指定・天然記念物
環境省指定・重要里地里山
モミ原生林、植物800種以上、
世界的ヤナギ園(190種)

【青葉山】薬用植物園
薬用植物 1200種以上栽培



青葉山キャンパス



片平キャンパス

広瀬川



鳥類:ヤマセミ・チョウゲンボウなど120種以上
魚類:アユ・ウグイなど110種以上
(初夏はカジカガエルの声が聞こえる)

【青葉山】カタクリの大群落



キャンパスバスもあるよ。

豊かな自然に恵まれたキャンパス

1907年 東大、京大に次ぐ第三の帝国大学として設立



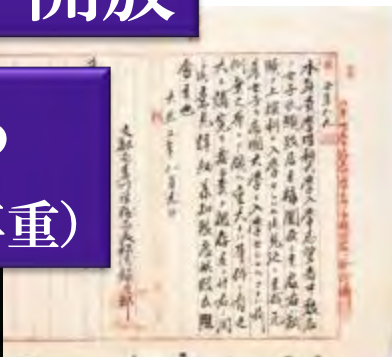
1907年(明治40年)東北帝国大学設置
勅令第236号 6月22日 公布
9月 1日 施行

「第1条 仙台に帝国大学を置き
東北帝国大学と称す」

東北大学の理念と目標

門戸開放

実用忘れざる の主義 (実学尊重)



研究第一主義

2024年12月

国際卓越研究大学認定

「卓越性の追求、社会価値の創造、
多様性と開放性」

2017年6月

東北大学110周年

2019年 新制東北大学 70周年



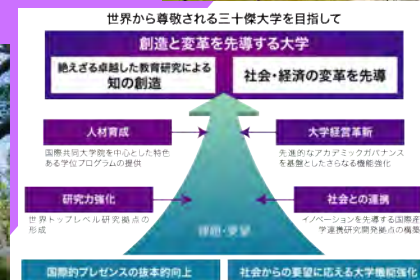
2011年3月

東日本大震災



国際卓越研究大学
認定・認可に係る記者説明会

2024年 12月 24日
東北大学 総校
屋永 第二



2017年 6月

指定国立大学法人

(東北大、東大、京大)

「創造と変革を先導する大学」

2013年8月

東北大学グローバルビジョン

「人が集い、学び、創造する、
世界に開かれた知の共同体」

「復興・新生の先導」

「ワールドクラスへの飛躍」

研究第一主義

「建学の理念」

澤柳政太郎初代総長、
北條時敬第二代総長の
頃に固められた理念

- ・ 教員と学生が一緒に学術研究を行うことで、優れた研究成果と人材育成に繋がるという意味
- ・ 研究だけに熱中して教育を怠る意味とは正反対
- ・ 教育機関であることを前提とした研究第一主義

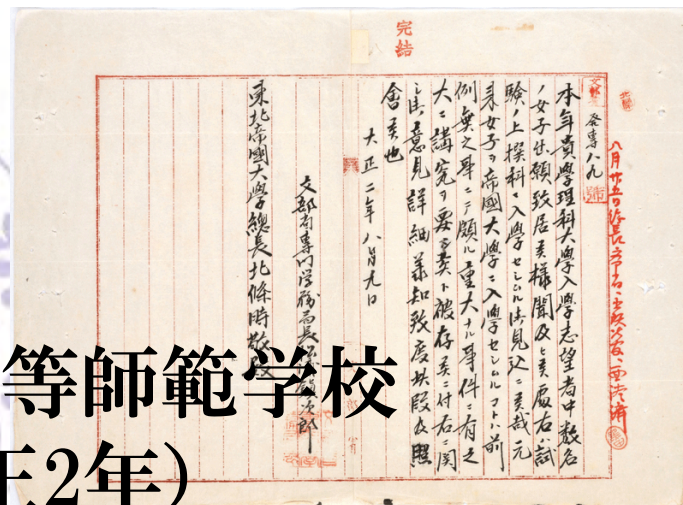
※「学問の自由」

学問研究の自由、研究成果発表の自由、
研究成果に基づき教育する自由、教育研究機関の自治

門戸開放

歴史的意味

- 旧制高等学校＋専門学校・高等師範学校
- 女性の入学許可(1913年・大正2年)



文部省から北條時敬総長への
問合せ文書
(大正2年8月9日)

現代的意味

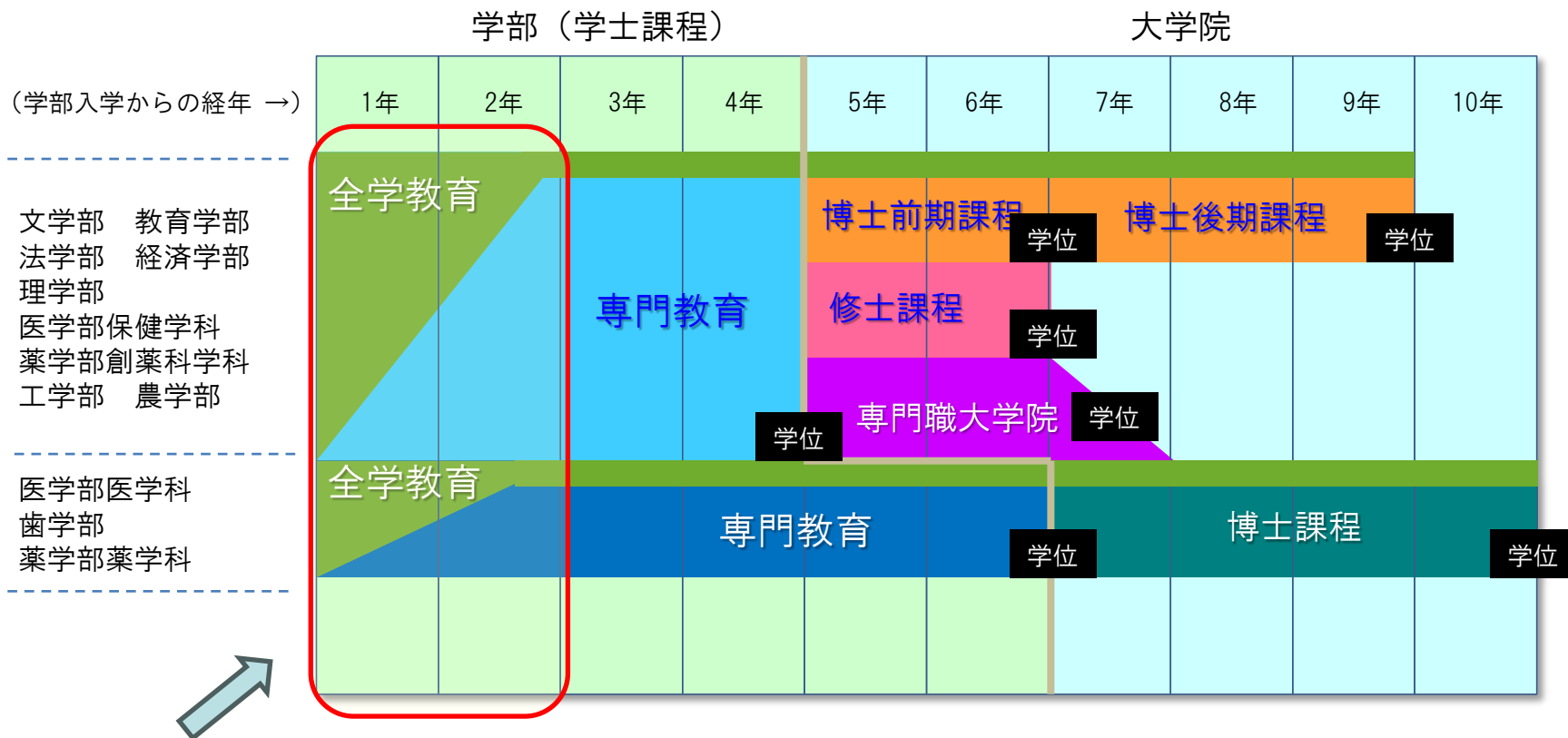
- 本学で学びたいあらゆる人々への開放
- 本学で働きたいあらゆる人々への開放

※「あらゆる人々への開放」＝人種、民族、国籍を問わない、
心身の困難、LGBT等への配慮に努力する

実用忘れざるの主義

- 「実学尊重」と短く表現されることが多いが
本来の言葉は「**実用忘れざるの主義**」
- 「研究第一主義」と両輪
東北大学のこれまでの**重要な研究の原動力**
- その時々々の要求に応えるような有用性ではなく
人類社会にとっての長期的普遍的な有用性や
正負の効果を自覚しつつ研究を推進すること

東北大学の教育課程



全学教育＝大学全体（全学）が総動員で実施する共通基盤教育

- 大学での「**学び方を学ぶ**」重要な教育
- 初年次から高年次まで開かれた教育資源



[https://www2
.he.tohoku.a
c.jp/zengaku/
zengaku.html](https://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku.html)

全学教育の概要

涵養する知識・技能 (知識力と人間力を涵養する重要な青年期教育と位置付け)

1. 現代人、国際人として社会生活を送る上で基盤となる知識と技能
2. 人間形成の根幹となる、現代社会にふさわしい基本的教養や技法
3. 専攻する専門分野の理解を助けるための幅広い学問分野に関する知識と技能
4. 専攻分野を学ぶ上で基礎となる知識と技能

科目構成 (主に1年次2年次に履修する科目、高年次学生対象の高年次教養科目あり)

基盤科目類

学問論群、人文科学群、社会科学群、自然科学群、学際科目群
(倫理、哲学、芸術、インクルージョン、経済、社会、政治、歴史、エネルギー、生命、環境、情報など)

先進科目群

現代素養科目群、先端学術科目群

情報教育、国際教育、キャリア教育、地球規模課題
カレントトピックス科目、フロンティア科目

言語科目群

外国語群(英語、初修語、諸外国語)、日本語群(留学生対象)

学術基礎科目群

基礎人文科学群、基礎社会科学群、
基礎数学群、基礎物理学群、基礎化学群、基礎生物学群、
基礎宇宙地球科学群

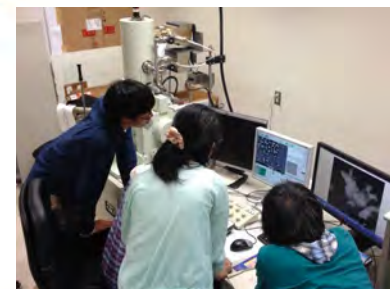
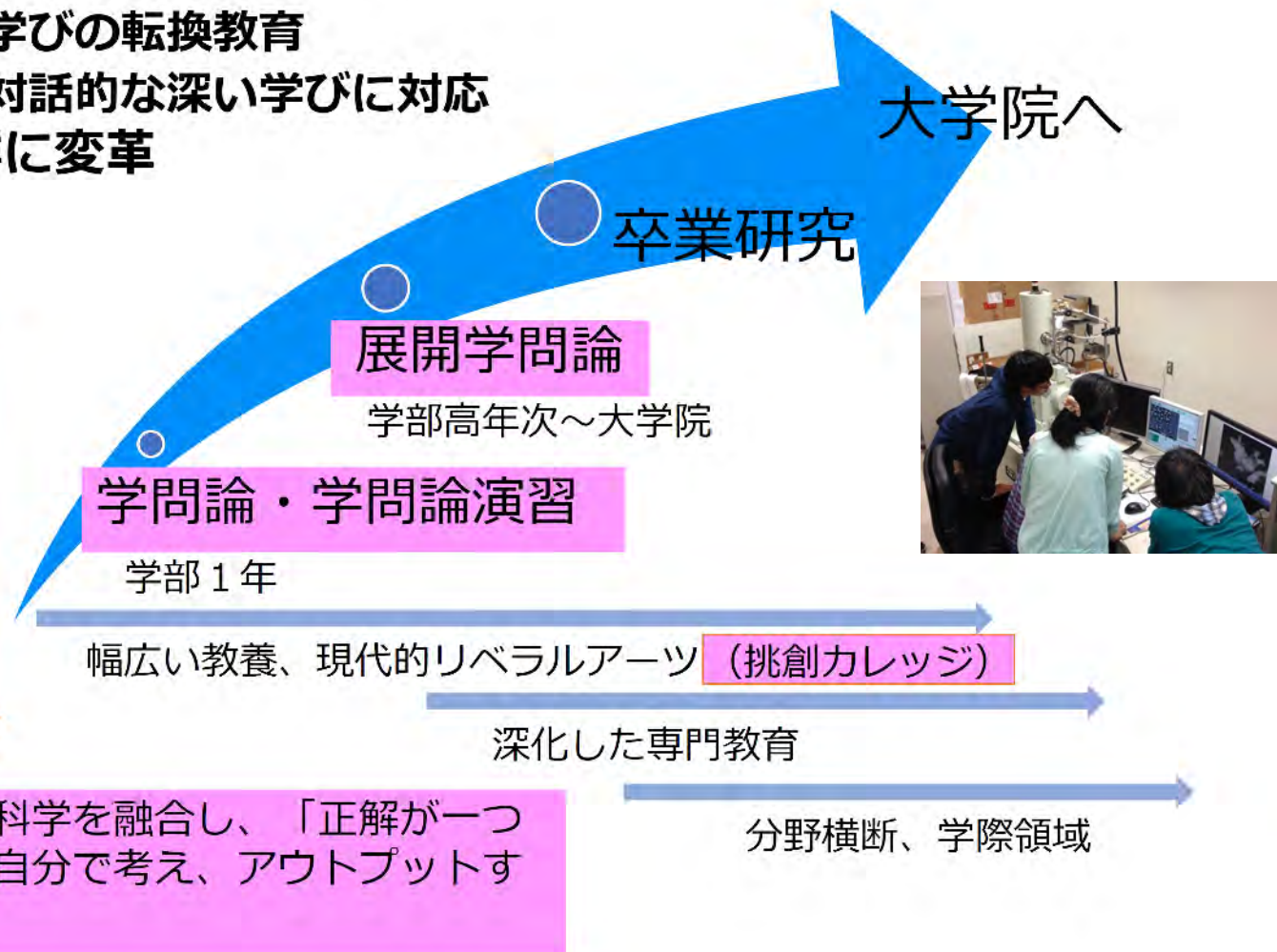


経緯

2002年から本学の初年次教育“基礎ゼミ”
(少人数型アクティブラーニング) 開始

変革

主体的な学びの転換教育
主体的・対話的な深い学びに対応
学問論群に変革



人文・社会・自然科学を融合し、「正解が一つ
ではない問い」に自分で考え、アウトプットする
教育を実現



特徴

文系・理系に関わらず，全学部必修→MDASH(リテラシーレベル)プラス獲得
挑創カレッジ（意欲的學生が選択）を履修→MDASH(応用基礎レベル)プラス獲得



本プログラムは文部科学省数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）プラスに選定されています（選定の有効期限：令和8年3月31日まで）。

多層構造



本プログラムは文部科学省数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）プラスに選定されています（選定の有効期限：令和9年3月31日まで）。

大学院生

リーダー
育成

専門家育成

高度プロフェッショナルレベル

CDS

応用基礎レベル

AIMDの基礎

入門レベル

初年次～学部生



情報とデータの基礎
(AIMDの基礎, 全員履修)



実データを利用して，Pythonにより機械学習のプログラムを組み，実際の解析を実践する体験型授業。（CDS必修）

実践的機械学習 I (CDS)

Pythonによるコーディング実習

全学教育AIMD関連科目（2024年度）

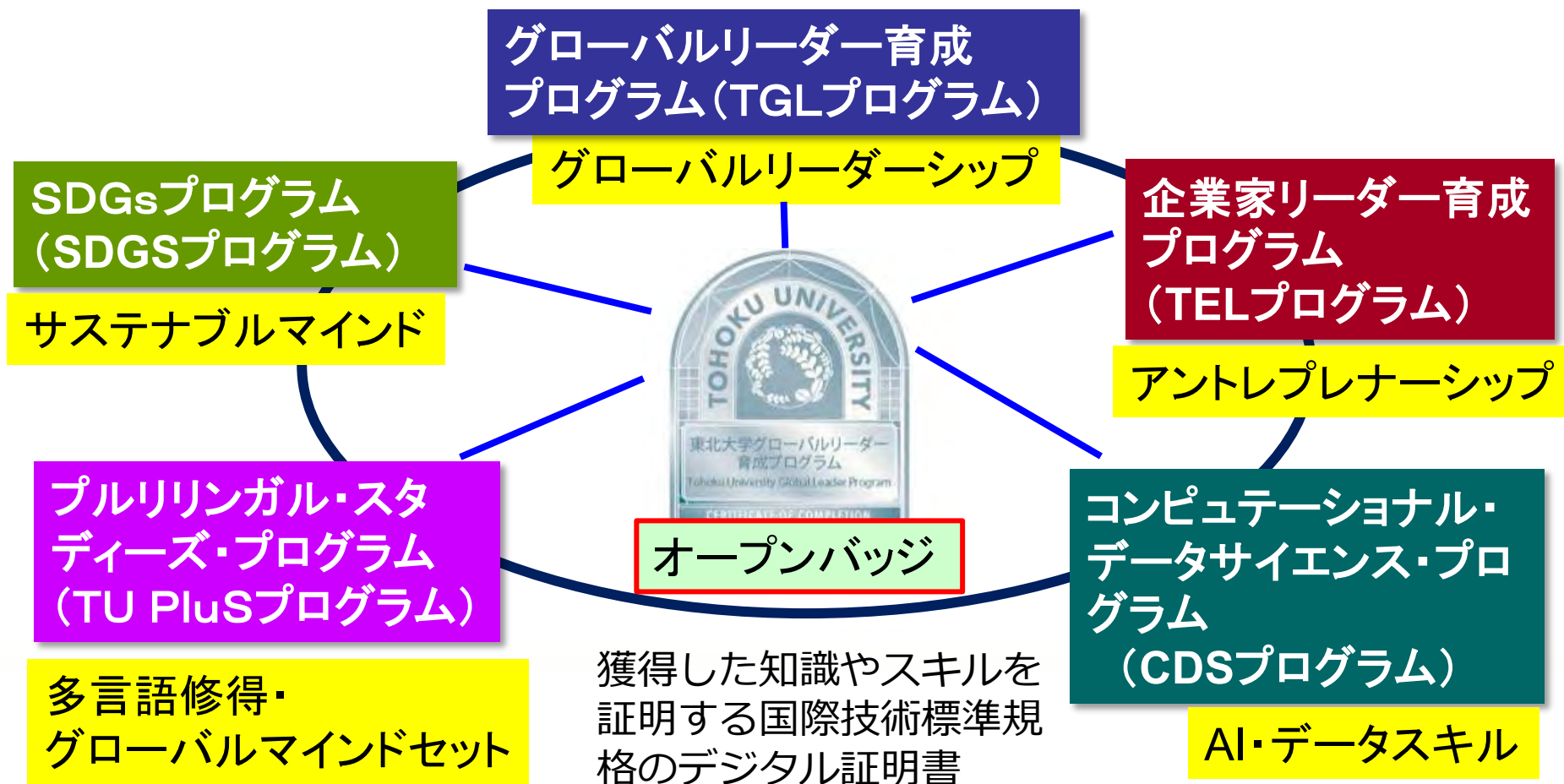
科目群	科目名
AIMD の基礎 (全員履修)	情報とデータの基礎(2 単位)
情報の基礎	機械学習アルゴリズム概論、実践的機械学習 I・II、データ科学・AI 概論、情報教育特別講義（AI をめぐる人間と社会の過去・現在・未来 等）(各 2 単位)
統計の基礎	数理統計学入門、数理統計学概論、数理統計学、情報教育特別講義（統計数理モデリング）(各 2 単位)
数学の基礎	解析学入門、線形代数学入門、解析学概論、線形代数学概論、解析学 A・B、線形代数学 A・B (各 2 単位)



東北大学挑創カレッジ

- ・変革期の現代社会を生きる学生のための教育プログラム
- ・学生の「挑む心」に応え、「創造力を伸ばす」実践教育の展開

(パッケージ化された科目履修、所属学部によらず受講可能)





学修を支えるデジタル環境

デジタルキャンパスプロジェクト (サイバー空間から学修を支援)

演習室 計算機端末

情報科目をはじめとして、計算機やインターネットを利用する授業の実施環境を提供するとともに授業時間外の端末自習利用にも対応しています。



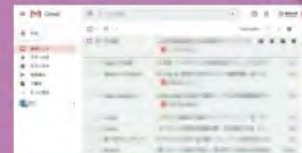
学習支援 ウェブサービス

授業映像や教材の閲覧、レポート課題の確認・提出、オンラインディスカッションなど多くの機能を備えたウェブベースの学習支援システムを利用できます。



電子メール (DCMail)

入学と同時に大学公式のメールアドレスが付与されます。教職員との連絡手段として、学生同士の、あるいは学外との連絡手段としてご利用ください。



キャンパス Wi-Fi

簡単な設定だけで、スマートフォン、タブレット、ノートPCなどの携帯端末から無線回線(Wi-Fi)を利用してインターネットに接続できます。



教務関連 ウェブサービス

履修登録と確認、成績照会などの教務に関係する手続きや、授業科目のシラバス閲覧などもウェブブラウザ上で行うことができます。



附属図書館 情報サービス

蔵書検索、予約や貸出状況確認、電子ジャーナルの利用などのウェブサービスや来館者用のPC端末サービス、共同学習スペース（ラーニングcommons）などを提供しています。



教室での
配布資料を
家で見たい

家から
レポートを
提出したい

予習動画を見て
授業に備えたい

オンライン授業
を受講したい

アンケートで
自分の意見を
大学に伝えたい

電子ジャーナルを
閲覧したい

大学のPCで
プログラミングの
課題をしたい

Web教材で外国語の
自習をしたい

休講情報を
スマホで
受け取りたい

持参のノートPCや
タブレットを教室で
インターネットに
つなぎたい

今期の成績を
確認したい





[https://www.
dc.tohoku.a
c.jp/readme/](https://www.dc.tohoku.ac.jp/readme/)

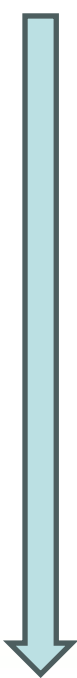
学修を始める前に



東北大学教育系情報システム オンラインガイド

Information Services for Education in Tohoku University

Check Now!

- 
1. 東北大ID確認
 2. 学生用メールサービス(DCMail)にアクセスし、利用設定
 3. 東北大学Single Sign-On(SSO)にアクセスし、東北大IDの初期パスワードを変更
 4. キャンパスWi-Fiサービスの確認
 5. Microsoft365の利用設定
 6. 学務情報システムにログイン、履修登録や確認、成績の閲覧方法確認
 7. ISTU/DCシステムをはじめ、LMS (Learning Management System、学習管理システム) など、授業受講のためのツールやサービスの確認



学修に困ったときは

SLA(エスエルエー): Student Learning Adviser

大学での学びに
不安はありませんか？



そんな時は… SLAサポートへ

東北大学では、SLA(エスエルエー)と呼ばれる学生たち(学部3年～大学院生)が、みなさんの学習をサポートしています。

SLAサポートのコンセプトは、「ともと学ぼう、ともに育とう、ともぞだち」。特に学部1～2年生のみなさんには、基礎から高度なレベルまでを幅広く対応しています。

English
Conversation

英会話サポート

英会話の
練習がしたい

授業でよく
分からない
ところがある

Writing

ライティングサポート

レポートを
誰かに
見てほしい

Science
Subjects

理系科目サポート





学生相談・特別支援

悩みや不安を感じたときには気軽に利用してください

特別支援室

022-795-7696

t-sien@ihe.tohoku.ac.jp

学生相談所

022-795-7833

gakuso@ihe.tohoku.ac.jp

保健管理センター

022-795-7836(事務室)

022-795-7829(診療室)

保健室は各キャンパスにあります



川内北キャンパス



<https://www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/studyabroad/>

海外留学プログラム

国際経験を積もう！

東北大学生のための
海外留学ガイドブック
Tohoku University Study Abroad Guidebook 2025



<https://www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/download/>



短期海外研修 (SAP・FL)

学部1・2年生を中心に

年間約**250名**が参加する

2～4週間の海外研修プログラム

(2025年春SAP/FLプログラム)

5ヶ国・地域で190名募集・実施済

夏(8～9月)実施プログラムについては
4月下旬ごろに説明会開催予定

海外留学説明会に注目！



※ 半年～1年間の交換留学も推進しています。

国際的な連携(交換留学)

学術交流協定締結校

大学間協定校 — 36ヶ国・地域 243機関 (2025.1 現在)
部局間協定校 — 59ヶ国・地域 469機関 (2025.1 現在)



サイバー空間だけでなく
現実空間でも世界と繋がっている

TOHOKU
UNIVERSITY

AI時代の 大学

2025

4.21日 13:30 ▶ 15:30

多様な目的に応じて様々な機能を持つAIが急峻に進化し、現代世界に広く織り込まれつつあります。そしてその影響力は、社会だけでなく人間の在り方も変え得るほどと見積もられますので、この事象に対して早期に理性を作用させることは、デジタル社会に生きる市民の倫理的態度と言えます。そこでこのセミナーでは、AIの現状ならびに現状を外挿した未来も視野に入れ、AI時代における社会や人間の在るべき姿とは何かを、まずは大学という、私たちの誰もが当事者の文脈で考えます。具体的には、(1)AIの科学・技術・社会・高等教育への影響について現状と将来の概観、(2)大学での学びや研究におけるAI時代固有の事象とその考察、(3)AIと教養の緊張関係に関する分析と課題、以上の観点による講演に基づき、講演者を含むパネリストと参加学生による討論を行います。

学務審議会・教養教育院共催
東北大学教養教育特別セミナー

教養教育特別セミナー

2025年4月21日(月)

開会挨拶 富永 悌二 東北大学総長

プログラム

話題提供

●汎用AIの現在と未来：高等教育に与える影響

鈴木 潤 教授 (言語AI 研究センター長)

●未来予測が困難な時代に、どう学ぶのか？

渡部 信一 名誉教授 (元大学院教育情報学研究部長)

●AIと教養の緊張関係のゆくえ

静谷 啓樹 総長特命教授 (教養教育院)

質疑応答・全体討論

参加学生・講演者・教養教育院総長特命教授

尾崎 彰宏 (西洋美術史)、田中 仁 (環境水工学)

日笠 健一 (素粒子物理学)、森本 浩一 (言語思想)

閉会挨拶 滝澤 博胤 理事・副学長 (教養教育院長)

司会 河田 雅圭 総長特命教授 (教養教育院)

閉会

多様な目的に応じて様々な機能を持つAIが急峻に進化し、現代世界に広く織り込まれつつあります。そしてその影響力は、社会だけでなく人間の在り方も変え得るほどと見積もられますので、この事象に対して早期に理性を作用させることは、デジタル社会に生きる市民の倫理的態度と言えます。そこでこのセミナーでは、AIの現状ならびに現状を外挿した未来も視野に入れ、AI時代における社会や人間の在るべき姿とは何かを、まずは大学という、私たちの誰もが当事者の文脈で考えます。

新入生の皆さんの積極的な参加と
討論を期待しています。

会場・申込URL

メイン会場 (対面参加) 学部新入生の希望者および「学問論」履修者以外の希望者対象 要申込

マルチメディア教育棟2階 M206

- 定員 先着360名
- 申込URL <https://forms.gle/67UtHGzvsu6MsbK9>
- 申込受付期間 4/1 (火) 9:00 ~ 4/18 (金) 15:00



サテライト会場 (同時配信) 学部新入生のみ対象 申込不要

A・B・C棟講義室

「学問論」のクラスで割当て教室をお知らせします。
メイン会場での対面参加申込が受理された方はM206で参加してください。

オンライン参加 「学問論」履修者以外の希望者対象 要申込

- 定員 先着260名
- 申込URL <https://forms.gle/NJtGWsfAc54AZ65N9>
- 申込受付期間 4/1 (火) 9:00 ~ 4/18 (金) 15:00



※全学教員利用「学問論」(2025年度)の一部として実施します。

※「学問論」履修者以外の学生が授業の参加が可能です。

当日プログラム

12:30 メイン会場入場開始

13:30 開会 富永 悌二 総長

話題提供 (各20分)

鈴木 潤 教授 (言語AI 研究センター長) (人工知能科学)

汎用AIの現在と未来：
高等教育に与える影響

渡部 信一 名誉教授 (元大学院教育情報学研究部長) (教育情報科学)

未来予測が困難な時代に、
どう学ぶのか？

静谷 啓樹 総長特命教授 (教養教育院) (現代学際科学)

AIと教養の緊張関係のゆくえ

14:40 質疑応答・全体討論

参加学生・講演者・教養教育院総長特命教授

尾崎 彰宏 (西洋美術史)、田中 仁 (環境水工学)

日笠 健一 (素粒子物理学)、森本 浩一 (言語思想)

15:30 閉会 滝澤 博胤 理事・副学長 (教養教育院長)

司会 河田 雅圭 総長特命教授 (教養教育院) (現代学際科学)

※終了後、学部教員を対象として会場内での個別セッション(各10分)。
学部教員以外への参加は別途要確認。

社会から信頼、尊敬、愛情を受けられる大学
人類社会の発展に貢献する大学



東 北 大 学

ようこそ 東北大学へ

*Welcome to
Tohoku University*

Open the door to the future

東北大学 正門（片平キャンパス）

2025年4月3日
新入生オリエンテーション

Congratulations on your enrollment !



**Make full use of Tohoku University as an
educational platform
and
take on the challenge of realizing your
aspirations.**

Tohoku University will fully support you.

ご清聴ありがとうございました

Thank you very much for your attention.